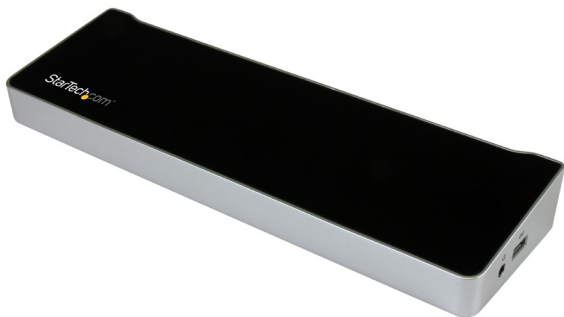


ノートパソコン用トリプルビデオ ドッキングステーション

USB3DOCKKH2DP



*実際の製品は写真と異なる場合があります

DE: Bedienungsanleitung - de.startech.com

FR: Guide de l'utilisateur - fr.startech.com

ES: Guía del usuario - es.startech.com

IT: Guida per l'uso - it.startech.com

NL: Gebruiksaanwijzing - nl.startech.com

PT: Guia do usuário - pt.startech.com

本製品の最新情報、技術仕様、サポートについては、
www.startech.com/USB3DOCKKH2DP をご覧ください。

FCC準拠ステートメント

本製品はFCC規則パート15のBクラスデジタルデバイスに対する制限を遵守しているかを確認する試験にて、その準拠が証明されています。これらの制限は、住居環境に設置された場合に有害な干渉から合理的に保護するために設計されています。本製品は無線周波数エネルギーを発生、使用、放出し、指示に従って取り付けられ、使用されなかった場合は、無線通信に有害な干渉を与える可能性があります。一方、特定の取り付け状況では、干渉が起きないという保証を致しかねます。本製品がラジオやテレビ電波の受信に有害な干渉を発生する場合（干渉の有無は、製品の電源を一度切り、改めて電源を入れることで確認できます）、次のいずれかまたは複数の方法を試すことにより、干渉を是正することをお勧めします：

- 受信アンテナの向きを変えるか、場所を変える。
- 製品と受信アンテナの距離を離す。
- 受信アンテナが接続されているコンセントとは異なる回路を使うコンセントに本製品を接続する。
- 販売店が実績のあるラジオ/テレビ技術者に問い合わせる。

本デバイスは、FCC規格Part 15に準拠しています。お使いの際には、次の注意事項をよくお読みください。(1) 本デバイスが有害な干渉を引き起こすことはありません。(2) 本デバイスは予想外の動作を引き起こす可能性のある干渉も含め、すべての干渉を受け入れなければなりません。

StarTech.comにより明示的に承認されていない変更もしくは改変を行った場合、本デバイスを操作するユーザー権限が無効になる恐れがあります。

インダストリーカナダ準拠ステートメント

本クラスBデジタル装置はカナダのICES-003に準拠しています。

CAN ICES-3 (B)

商標、登録商標、その他法律で保護されている名称やシンボルの使用

本書は第三者企業の商標、登録商標、その他法律で保護されている名称やシンボルをウェブサイト上で使用する場合がありますが、これらは一切StarTech.comとは関係がありません。これらの使用は、お客様に製品内容を説明する目的でのみ行われており、StarTech.comによる当該製品やサービスの保証や、これら第三者企業による本書に記載される商品への保証を意味するものではありません。本書で直接的に肯定する表現があったとしても、StarTech.comは、本書で使用されるすべての商標、登録商標、サービスマーク、その他法律で保護される名称やシンボルは、それぞれの所有者に帰属することをここに認めます。

目次

はじめに	1
パッケージの内容	1
動作環境	1
製品図	2
フロントビュー	2
リアビュー	2
USB 3.0およびUSB 3.1 Gen 1について	3
インストール手順	3
ドライバのインストール	3
ハードウェアのインストール	3
ドッキングステーションのポート	4
デバイスの充電	4
30ピンドックコネクタによるiPadの充電	4
ディスプレイデバイスの設定	4
DisplayLinkによるディスプレイデバイスの設定	4
ディスプレイのオプション	5
Mac OSによるディスプレイデバイスの設定	6
Mac OSによるディスプレイモードの変更	6
Mac OSによるプライマリディスプレイの変更	6
最大表示解像度	7
技術サポート	8
保証に関する情報	8

はじめに

パッケージの内容

- 1x ノートパソコン用トリプルビデオドッキングステーション
- 1x USB 3.0 ホストケーブル
- 1x ユニバーサル電源アダプタ (北米/EU/UK/オーストラリアで使用可能)
- 1x ユーザマニュアル

動作環境

- 空きUSB 3.0ポートのあるUSB対応ホストコンピューターシステム
- 利用可能なAC電源コンセント
- DisplayPort™/HDMI®対応ディスプレイ (追加外部ディスプレイ用ケーブル付き)
- Windows® 7 (32ビットおよび64ビット)
- Windows 8 (32ビットおよび64ビット)
- Windows 8.1 (32ビットおよび64ビット)
- Mac OS®10.8以降 (10.10までテスト済み)

注意:ドッキングステーションをUSB 2.0ホストポートに接続した場合、またはUSB 2.0ホスト接続ケーブルを使用する場合、性能が限定される場合があります。

オペレーティングシステム要件は変更される場合があります。最新要件は、www.startech.com/USB3DOCKH2DP でご確認ください。

USB 3.0およびUSB 3.1 Gen 1について

USB 3.0はUSB 3.1 Gen 1としても知られています。この接続規格の最大転送速度は5 Gbpsです。

インストール手順

お使いのオペレーティングシステムのバージョンと、アクティブなネットワーク接続があるか否かにより、ドッキングステーションがホストシステムの利用可能なUSBポートに接続されると自動的にインストールを開始するか、適切なドライブを自動的にダウンロードします。

ドライブが自動インストールされる旨のプロンプトが表示されたら、画面の指示に従い、インストールを完了します。

ドライブのインストール

1. お使いのコンピュータのWebブラウザから www.startech.com/USB3DOCKH2DP へアクセスします。
2. **Support (サポート)** タブをクリックします。
3. ドライブファイルをクリックし、画面上の指示に従ってファイルをダウンロードします。
4. ダウンロードしたドライブファイルの保存場所を開き、次のいずれかの作業を実行します。
 - オペレーティングシステムがWindowsの場合、**DisplayLink.exe**インストールファイルを実行します。
 - オペレーティングシステムがMac OSの場合、**DisplayLink.dmg**ファイルを実行します。
5. 画面の指示に従い、ドライブのインストールを完了します。

注意: インストールを完了するにはホストノートパソコンの再起動が必要な場合があります。

ハードウェアのインストール

1. お住まいの地域のクリップを選択し、電源アダプタをAC電源コンセントに接続します。
2. 電源アダプタをドッキングステーションのDC入力ポートに差し込みます。
3. 付属のUSB 3.0ケーブルをドッキングステーションのUSB 3.0ポートに接続します。その後ホストノートパソコンのUSB 3.0ポートに接続します。
5. DisplayPort /HDMIディスプレイをドッキングステーションの対応するポートに接続します。
6. 必要に応じて、RJ45ネットワーク接続、USB対応周辺機器、ヘッドセット、スピーカー、マイクロフォンなどのデバイスをドッキングステーションに接続します。

ドッキングステーションのポート

ドッキングステーションの背面にある4つのUSBポートは標準型USB 3.0スルーブットポートです。ドッキングステーションをホストノートパソコンに接続している場合、選択したデバイスに対しこれらのポートがトリクル充電を行います。

側面のUSB 3.0ポートは、バッテリー充電仕様改訂1.2 (BC 1.2)に準拠しています。これにより、従来の標準的なUSB 3.0ポートよりも高速にデバイスを充電できます。

ドッキングステーションがホストノートパソコンに接続されていない場合でも、側面のUSB 3.0ポートから接続したデバイスを高速充電できます。ドッキングステーションがホストノートパソコンに接続されている場合、側面のUSB 3.0ポートが同時充電機能と同期機能を持つ充電ダウンストリームポート (CDP) として機能します。

デバイスの充電

側面のUSB 3.0ポートをデバイスの充電だけに使用する場合は、ホストノートパソコンに接続する必要はありません。

- デバイスを充電するには、デバイスをドッキングステーションの側面にあるUSB 3.0ポートに接続します。

注意:側面のUSB 3.0ポートは、USB Battery Charging Specification Revision 1.2に準拠している接続デバイスのみを高速充電します。

30ピンドックコネクタによるiPadの充電

以下の手順は、30ピンコネクタを搭載したiPadのみに適用されます。Lightning対応iPadはドッキングステーション側面のUSBポートから充電できます。

1. ドッキングステーションがホストノートパソコンに接続されていないことを確認してください。
2. iPadをドッキングステーションの側面にあるUSB 3.0ポートに接続します。

注意:第一世代iPadを充電中にホストノートパソコンをドッキングステーションに接続すると、iPadはデータ同期モードに切り替わり、充電が中止されます。充電モードに戻すには、ホストノートパソコンとiPadをドッキングステーションから外します。そして、もう一度iPadをドッキングステーションに接続します。

ディスプレイデバイスの設定

DisplayLinkによるディスプレイデバイスの設定

1. ドッキングステーションにディスプレイデバイス (モニター、プロジェクタなど) を接続します。

- 必要な場合はツールバーの**Show hidden icons** 矢印をクリックしてアイコンをすべて表示します。
- DisplayLink**アイコンをクリックします。
- StarTech **USB3DOCKH2DP**をクリックします。
- ドロップダウンリストから設定可能オプションをクリックします。すべての接続ディスプレイが1台ずつ個別に設定されます。

注意:Windows 7またはWindows 8を実行している場合は、**[画面設定]** 画面からディスプレイを調整することもできます。

ディスプレイのオプション

以下は、DisplayLinkユーティリティで可能なディスプレイ設定についての情報です。

拡張

このオプションを選択すると、ドッキングステーションに接続されたディスプレイ上のWindowsデスクトップ領域を拡張できます。このオプションを選択すると、アプリケーションやドキュメントを複数同時に表示させることができます。ディスプレイは前回「拡張」モードにあった時の方向に拡張されます。

さらに詳細な制御を行うには、**拡張先**サブメニューからいずれかのオプションをクリックします。ディスプレイが「拡張」モードになり、プライマリディスプレイの右 / 左 / 上 / 下に画面が表示されます。

ミラー

このオプションを選択すると、ドッキングステーションに接続されたプライマリディスプレイの画面が複製されます。プライマリディスプレイの解像度、色深度、リフレッシュレートが、接続されるディスプレイでも採用されます。

注意:使用されるディスプレイの技術仕様が異なる場合、システムのプライマリグラフィックスアダプタが均一のアスペクト比が維持できるよう、仕様を引き下げ、すべての設定内容を調整します。

拡張先

このオプションはドッキングステーションに接続されるディスプレイがシステムプライマリディスプレイとどのような位置関係になるかを指定します。

画面解像度

このオプションを使うとドッキングステーションに接続されたディスプレイの解像度を変更できます。

スクリーンの向き

このオプションは、スクリーンを表示する向きを変更することができます。最も良く使用されている向きは、横向きと縦向きです。

メインモニタとして設定する

このオプションを選択すると、ドッキングステーションに接続されたディスプレイがプライマリディスプレイとして指定されます。プライマリディスプレイはすべてのシステムアラートを表示し、アプリケーション実行では最優先されます。

オフ

このオプションを選択すると、ドッキングステーションに接続されたディスプレイが無効になります。

Mac OSによるディスプレイデバイスの設定

Mac OSを実行している場合は、[システム環境設定] メニューの [ディスプレイ] セクションでディスプレイデバイスを調整可能です。

Mac OSによるディスプレイモードの変更

デフォルトでは、ドッキングステーションは拡張ディスプレイとして設定されています。

- 次の手順のひとつを実行します。
 - ディスプレイをミラーモードに変更するには、ディスプレイの [Arrangement] 画面で [Mirror Display] チェックボックスを選択します。
 - ディスプレイを拡張モードに変更するには、ディスプレイの [Arrangement] 画面で [Mirror Display] チェックボックスの選択を外します。
 - [拡張] モードと [ミラー] モードを同時に利用するには、[Mirror Display] のチェックボックスの選択を外します。Arrangement 画面で **Cmd + Alt** ボタンを押したまま、プライマリディスプレイのミラーを表示したいディスプレイ (白いバーが表示される) をドラッグ&ドロップします。ミラー表示したいディスプレイすべてについて上記の手順を繰り返します。

Mac OSによるプライマリディスプレイの変更

プライマリモニタを変更すると、新しいウィンドウが表示される場所に影響が出ます。

- プライマリディスプレイをほかの接続ディスプレイに変更するには、現在のプライマリディスプレイ上で白いメニューバーをクリックし、プライマリディスプレイにしたいディスプレイまでドラッグします。

最大表示解像度

ドッキングステーションはDisplayPort 1ビデオ出力で4Kに近いビデオ解像度に対応しています。

接続したDisplayPortディスプレイが4Kに対応していれば、4K (3840 x 2160) の解像度が得られます。

詳細な仕様やサポートしている解像度は、以下の最大表示解像度表を参照してください。

ビデオ出力	DisplayPort 最大解像度 – ポート1	DisplayPort 最大解像度 – ポート2	HDMI 最大解像度
DisplayPort 1のみ (ディスプレイ1台)	3840x2160p (4K) 2560x1600p 2560x1440p	該当なし	該当なし
DisplayPort 2のみ (ディスプレイ1台)	該当なし	2560x1600p	該当なし
HDMIのみ (ディスプレイ1台)	該当なし	該当なし	2560x1440p
DisplayPort 1 およびHDMI (ディスプレイ2台)	3840x2160p (4K)	該当なし	2560x1440p
DisplayPort 2 およびHDMI (ディスプレイ2台)	該当なし	2048x1152p	2048x1152p
DisplayPort 1 およびDisplayPort 2 (ディスプレイ2台)	3840x2160p (4K)	2560x1600p	該当なし
すべてのディスプレイ (DisplayPort 1、 DisplayPort 2、HDMI)	3840x2160p (4K)	2048x1152p	2048x1152p

注意: お使いの接続モニタの構成や対応解像度によっては、ドッキングステーションが上述の仕様以下の低解像度ビデオに対応できる場合があります。

技術サポート

StarTech.comの永久無料技術サポートは、当社が業界屈指のソリューションを提供するという企業理念において不可欠な部分を構成しています。お使いの製品についてヘルプが必要な場合は、www.startech.com/support までアクセスしてください。当社では、お客様をサポートするためにオンライン工具、マニュアル、ダウンロード可能資料をご用意しています。

ドライバやソフトウェアに関する最新情報は www.startech.com/downloads でご確認ください。

保証に関する情報

本製品は2年間保証が付いています。

また、StarTech.comは、資材や製造工程での欠陥に起因する商品を、新品購入日から、記載されている期間保証します。この期間中、これら商品は修理のために返品されるか、当社の裁量にて相当品と交換いたします。保証で適用されるのは、部品代と人件費のみです。StarTech.comは商品の誤用、乱雑な取り扱い、改造、その他通常の摩耗や破損に起因する欠陥や損傷に対して保証いたしかねます。

責任制限

StarTech.com Ltd. やStarTech.com USA LLP (またはその役員、幹部、従業員、または代理人) は、商品の使用に起因または関連するいかなる損害 (直接的、間接的、特別、懲罰的、偶発的、派生的、その他を問わず)、利益損失、事業機会損失、金銭的損失に対し、当該商品に対して支払われた金額を超えた一切の責任を負いかねます。一部の州では、偶発的または派生的損害に対する免責または限定的保証を認めていません。これらの法律が適用される場合は、本書に記載される責任制限や免責規定が適用されない場合があります。

見つけにくい製品が簡単に見つかります。StarTech.comでは、これが企業理念です。それは、お客様へのお約束です。

StarTech.comは、お客様が必要とするあらゆる接続用パーツを取り揃えたワンストップショップです。最新技術からレガシー製品、そしてこれらの新旧デバイスを一緒に使うためのあらゆるパーツ。当社はお客様のソリューションを接続するパーツを見つけるお手伝いをしています。

当社はお客様が必要なパーツを見つけるのを助け、世界中どこでも素早く配送します。当社の技術アドバイザーまでご連絡いただくか、当社のウェブサイトまでアクセスしていただくだけで、お客様が必要としている製品をすぐに提示します。

StarTech.comが提供しているすべての製品に関する詳細な情報はwww.startech.comまでアクセスでご確認ください。ウェブサイトだけの便利な工具をお使いいただけます。

StarTech.comは接続や技術パーツのISO 9001認証メーカーです。StarTech.comは1985年に創立し、米国、カナダ、イギリス、台湾に拠点を構え、世界中の市場でサービスを提供しています。